

栄養管理センター

主任 櫻井 聖子

展望と実績

2015年に主に行ったことは、JCIの再認証・ハラール食認証・介護の日のイベント・実習生の受け入れ・糖尿病デーがあげられます。

JCIの再認証サーベイでは、火災訓練・衛生管理の徹底が必要であり、日々の教育が大切であると感じました。サーベイは普段行っていることを見てもらうものであり、担当を決めて分担し、チェックを行うようにしました。

ハラール食認証においては、イスラム教の方は、豚肉を食べてはいけません。アルコールも禁止されています。宗教上の理由で食べるものに制限があります。豚肉やアルコールを使用した調理器具で調理ができなかったりします。どんな患者さんも受け入れ、宗教も受け入れて医療ができるよう、私たちはその一助となればと思います。

介護の日のイベントで、栄養補助食品の試食や栄養相談を行いました。このような機会があまりないので、一般の方にも情報提供できる場があるといいと思いました。

数年前から実習生の受け入れを中止していましたが、受け入れを再開することにしました。教える方もややとまどいはありましたが、実習生を通して、私たちが日々患者さんに接する態度など評価できました。

今年も11月に糖尿病チーム長寺（鎌倉）で血糖測定イベントを行いました。今回は、初の試みで外部の方と連携し、糖質をひかえたチョコレートの紹介と販売を行いました。他に、管理栄養士は毎年、希望者に食生活のアドバイスをを行います。おはなしができた方から「食事のことで不安だったから話せてよかった」「食べ過ぎに気をつけようと思う」等の声を聞くことができ、少しでも食生活の見直すきっかけにさせていただけたらと思います。今後もこのような

活動を通して地域貢献していきたいと考えています。

2015年実績

食数	478,314食／年 (月平均 39,860食)
栄養指導件数	11,932件／年 (月平均 994件)
栄養管理計画書枚数	108,048枚／年 (月平均 9,004枚)

学術業績

学会発表

1. 須釜典子：腎臓病教室による1年後の腎機能低下の進展抑制について。第18回日本病態栄養学会学術集会，京都，2015。
2. 須釜典子：経腸栄養から経口摂取へ移行できたギランバレー症候群の一症例。第30回日本静脈経腸栄養学会学術集会，神戸，2015。
3. 櫻井聖子：新たな肝硬変患者の飲水制限。第30回日本静脈経腸栄養学会学術集会，神戸，2015。
4. 岩井菜穂子：妊娠糖尿病と栄養指導の効果と課題。第58回日本糖尿病学会年次学術集会，山口，2015。